

第7回河北町小学校のあり方検討委員会

2023.11.22 18:00～19:04

進行：学校教育課長

○委員長 ●教育長 (課) 学校教育課長 (主) 教育主幹

1 開会

2 教育長あいさつ

3 委員長あいさつ

昨年度末、第1回あり方検討委員会にお集まりいただいて以来、7回と会の開催を重ねてきた。今回は「1校に統合する案」を、ぶれずに示していくことを確認できた。それをもとに答申案を作成し、今日皆様にお示ししている。今日は最後の会議になるため、ご意見を皆様全員からいただきたい。それを事務局と修正したうえで町教育委員会に答申したいと思う。

4 協議 (座長：委員長)

(1) 答申案について (教育主幹から説明)

【意見】

- ・P1 「2回目以降の検討委員会は以下のとおり実施しました。資料3」とあるが、これは第1回目から挿入をしてはどうか。
- ・P2 本文2行目「Ⅱ 検討結果」で「それぞれのメリット・デメリットを慎重に検討を重ね…」とあるが、「慎重に」は必要ない。形容詞的なものは答申には書かないほうがいい。
- ・P3 「2 河北町立小学校のあり方や将来の学校像に対する本町の基本的な考え方」の①最後の方で「中学校に隣接する形での設置もひとつです。」これは削除してほしい。
- ・P4の1行目「強く求めます。」の「強く」は不要。同ページ⑥「～労働環境の改善を図る。」を「～図ること。」にする。(4)「通学手段について」の「文部科学省が示す通学時間の範囲内なるように～」を「範囲内になるように～」にする。(6)「学童との連携について」で「既存校舎の利活用も含め、各学童施設、～」を「各学童施設については、～」にする。
- ・基本的にはすべて賛成。ただかなり理想的なものが入っていると感じた。P4(4)に「路線バス」とあるが、路線バスとはどうなのかと思った。
- ・賛成。時期的に統合はいつか。時期についての案はないようだが、見通しはど

うか。

- 時期について具体的にいつになるかということはこの会議では出なかった。しかし、いろいろ検討してみると早くても5年はかかると思われる。整備計画を作成したり、仮に新しい場所に建てるとなれば用地買収の問題も出てきたりするため、そのくらいの時間はかかると思われる。ただ、それを文言として表現するのは難しい。
- ・基本的には賛成。計画通りに進めていって細かい問題が出てきたときに、問題の解決を並行して考えていくべき。
- ・賛成。何も言うことなし。
- ・周りの保護者から「今すぐに統合してほしい」「なるべく早くしてほしい」と言われている。できるだけ早い統合の実施に賛成しつつも、今までと同じように地域性や地区のコミュニティーを大事にしてほしいと強く思う。
- ・答申案はまとまった内容になっている。通学手段、いじめ・不登校への体制や施設を一緒に考えていければいい。
- ・今までの意見を取り入れてもらっている。全面的に賛成。子どもたちにとってより良い教育環境である河北町になっていくことを願うとともに、そこがまた少子化対策につながっていければいいと思っている。
- ・賛成。同級生が2, 3名だとか1人だという子どももいて、その保護者からは「一刻も早く統合してほしい」「子どもに不憫な思いはさせたくない」という声が正直ある。より良い教育環境を整備してもらいたい。
- ・賛成。P3(2)③「各学区の伝統と良さを引き継ぐ学習の充実」と書かれていたので、伝統や文化が子どもたちに引き継がれればいい。
- ・見やすくすっきりと分かりやすい印象で賛成。学童でも、今からでも連携を取りながら研修をしていきたい。小中一貫校についてはもう少し詳しく聞きたかった
- ・全面的に賛成。P4(6)学童との連携についての「そのあり方について今後も検討していく」というところを、「同時進行で検討していく」に変えていただきたい。
- ・賛成。学校現場では時代の変化とともに様々な新しい課題が出てくる。そういった複雑多様化した教育課題の解決、様々な子どもたちへの適切な対応のためには、学校運営力を大きくする必要があると実感している。チーム河北町で1町1校の小学校を充実させていくということに大賛成。
- ・賛成。スクールバスと学童については、以前いた学校では、保護者から1名体制を2名体制にしてほしいなどという要望があった。路線バスを利用する時には、朝はいいが下校するときにはバスが回ってこないとかバスを利用する人が少ないなどという問題が出てくると思う。また、学童についても、学校内

に学童を併設している学校に勤めたことがあるが、その際、連携が非常に大事になってくると思う。今後、十分な検討が必要になると思う。

- ・賛成。この場で話し合うことなの分からないが、各校における学校教育目標や方針は、当然、国、県、町の方針を受けて学校長が設定しているわけだが、統合を迎えるまでにぎりぎりまでそれぞれの学校の目標で取り組んでいくのか、それとも校長同士が集まり、ある程度方向性や方針を話し合っていくのか、どのように決めていくのかと思う。後者の方が、統合の際にあまり大きく変わらないため保護者の方も安心するのではないかと思う。もし余裕があれば、2の（1）あたりに入れられないかと思う。
- ・これからの時代を担う子どもたちがよりよい環境で育っていくため、皆さんがこれまで話し合った答申に賛成。
- ・賛成だが、統合の時期が問題。本校は2学級の学年と3学級の学年があり、2学級と3学級では教育活動のダイナミックさが全然違うので、時機を逃してしまうと全部が2学級になってしまう可能性がある。文部科学省の適正規模では2学級から3学級とあるが、子どもの目から見てもそうだが、指導者から見ても3学級だと様々なダイナミックな活動ができて適切と感じるため、時期についてこれから話し合うべきと思う。
- ・河北町の教育にかける、もの・人・熱意が強く、町全体で子どもたちを育てていると感じる。いよいよ統合について答申に書かれ、今私たちがしなければならないのは、それに向けて交流学习などを計画的に実施することと、既存校舎の利用、地域の子どものつながりを確実にしながら、新しい学校の実現に努力しなければならない。
- ・本校は小学校の中で1番古い校舎。様々な設備が壊れている。これからさらに老朽化が進むと思うと、早く新しい校舎で子どもたちが学べるといいと思う。町への要望になると思うが、会計年度任用職員である学習指導補助員や地域コーディネーターなどを手厚くしてもらいたい。今後、準備委員会の準備コーディネーターのような人が必要かと思う。視察に行った遊佐町のように、教育に力を入れて、住みたいまち河北になったらいいと思う。

○疑問点について確認

- ・P4「路線バス」について→町営の路線バスの意味で書かせてもらった。路線バスの利用者が減少している。東根まで路線バスが通っており、通学で活用することで町の活性化にも役立つ可能性がある。
- ・「小中連携について」
(主) 小学校と中学校の連携の形は小中連携教育と小中一貫教育があり、今現在河北町でも同じ教育目標をもとに取り組んでいる状況。その1つの形が義務

教育学校であり、教育課程の編成がある程度自由に組めるという特徴がある。小中一貫教育は今までの小中の形を残しながら教育を進めていき、その中で小中の連携を十分に図っていくというものととらえてもらいたい。

- 小学校は小学校、中学校は中学校だが、内容を関連付けられるものはできるだけ関連させて教育を行っていくというのが小中一貫校。そのため、先ほどご意見をいただいたが、本当は近くのほうが連携しやすいのでいい。ただ、場所があるのかという問題があり、町の財政にもかかわるため、この会では何とも言い切れない。
- 学童の正式名称「放課後児童クラブ」は、答申には省略せずに表記する。学校の中に学童を設けているところなど様々な形があり、あり方が決まったら学童をどうしていくかも同時進行で検討していかなければならない。
- 統合となったときに、各学校はどのタイミングでどう動くかという問題について。突然急にではなく、子どもたちの交流も必要。一番肝心なのは、吸収合併は避けなければならない。2(1)①にあるように新しい環境が必要。校舎、校章、校歌など新しくする必要がある。ただし、今ある小学校の中から先生方も何人ずつか入ってつないでいく必要がある。そのステップをふむ必要がある。どのようにつないでいくか、つなぎの期間もみていかなければならないと思う。
- 職員の配置については、教員以外の人をどのように入れていきながらきめ細やかな教育をしていくことが必要になる。特に2(3)に含まれており、これからお願いしなければならないところである。
- 最後に時期であるが、今後に向けて「できるだけ早く」という言葉を使っているが、どうか。「～年から～年」とある他の答申もあるが、それは少し行き過ぎなのかと思う。

- 皆さんに賛同を得て心強い。統合となる場合に、子どもにとって不安になることをできる限り少なくしたい。そのために、統合に向けたコーディネーターの配置や統合に向けた交流学習の実施、統合に向けて新設する学校の目標について数年前から共有し、統合した時に違和感がないように統一した教育方針で子どもに関われるよう配慮することが大切。

皆さんに不安な点があるのは分かる。不安を解消するために、方向性が示されたら実現するための実施計画を作成し、町民に問いながら取り組んでいきたい。

- さらに加えたい点

- ・路線バスを使うなら、ぐるりと大きく回ってくることになると思う。乗車時間や通学時間のことが心配だ。

(課) スクールバスは現在2台。遊佐では10台活用していた。河北町の規模であればスクールバスは10台ほどになると思われる。そんな中、路線バスが様々な方面から走っているため、うまく通学に合えばあるものとして活用できるという意味で案に入れたところ。

- ・できれば路線バスでの通学時間が長くないように考えてほしい。
- ・「できるだけ早い統合の実施」は児童数の減少があるから。このままでは理由にならない。

「児童数の減少」という文言を入れるべきではないか。

○「最適な学びの環境の構築」というのは児童数の減少もあり、できるだけ生活環境を保持するということだが、ご指摘の通り、この検討の一番のスタートは少子化なので、少子化に対応してという文言を検討して入れることにしたい。

- ・「急激な減少」という言葉を入れてはどうか。

○この案については、今の意見を十分に踏まえて修正し答申していく。12月中には教育委員会に提出する。委員長と副委員長に一任してもらいたい。

○このような機会はなかなかない。途中に地区のご意見を聞く場を設けたことが特徴だった。仮にこのような会を別のことでもつとしたらどうしたらよいか、ご意見をいただきたい。構成員として様々な代表者に出ていただいたが、公募という形で行っているところもある。学校長がなかなか意見を言いづらいので、別の場で聞き取りを行うところもある。

- ・これからの学校経営についても大変参考になった。
- ・確かに意見は言いにくい部分もあったが、学校に帰った時に自分の学校を見直す視点になった。
- ・小学校のあり方について、統合とその形についていろいろ考えて参加していた。統合に付随する、馴染めないとかいじめの心配、既存の校舎の活用など様々な問題もあるが、それよりもまず小学校のあり方を考えながら参加した。有意義な会だった。
- ・先ほど公募の話があったが、今から学校に入るお子さんの保護者の声を取り入れられればもっとよかったかと思う。

○答申を出した後は各地区で説明していくことになると思う。また、パブリックコメントで町の方針についてご意見を広くいただくことをしなければならない。なかなかパブリックコメント集まりにくくて難しいので、丁寧な周知と説明が必要かと思う。

どのように地区民に説明していくか、事務局の考えはどうか。

(課) 具体的にはまだ決まっていないが、答申があれば、まずは町教育委員会や議会に報告を行い、広報やホームページ等で周知していこうと思う。その後、

町としての整備計画や実施計画を作っていく、その中で町がパブリックコメントをホームページ等で広く周知したい。地区座談会のように回って周知するか、1回で行うかは今後の検討で決めていきたい。知らなかったということがないように、いかに周知をいきわたらせるかが大切だと思う。

- ・重要な問題は、地区の区長会長やPTAの役員など、人が来てほしい会には具体的な細かい手立てが必要だと思う。

○皆さんからしっかりと意見を述べていただいた。今、思い浮かべているキーワードは「かほくはひとつ」。これまで各地区にまとまっていたが、これからは少子高齢化そして人口減少の中で、河北町が1つのものにならない。一人一人が「わたしたちは河北だ」と思いながら、学校も意識しながら進めていかなければならない。将来いい学校ができ、子どもたちにとって本当に行きたい学校になるように、町には検討していただきたいと思う。ご意見ご協力ありがとうございました。

(2) その他

5 その他

6 閉会